



第11回

お宝資料の 誕生秘話

民俗 部門

特別展「昭和浪漫 思い出の宝石箱」では、今から半世紀前の資料として、かつて水戸の街中にあったお店の折込み広告を展示する予定です。実は、その広告は、最初から博物館の資料としてあったわけではありませんでした。

問合せ／市立博物館(☎226-6521)



あるお宅の解体をしている方から「資料になりそうなものがある」と連絡を受け、急遽向かった場所にあったのは、ボロ布などが入ったダンボール箱でした。ゴミのようにも見えるそれを持ち帰り整理を始めると、白い紙を二つ折りにして束ねたものが出てきました。日付入りの手紙の下書きや、買った物の値段などが記されており、はて、とよく見ると、その白い紙の隅がペリッと剥がれています。広げてみるとそれは、当時の水戸市内のお店の折込み広告だったのです。驚いて、箱にあった紙の束をすべて剥がすと、次々に同年代のものと思われる広告が現れました。その数70点余り。大体、昭和30〜40年代のものと判明しました。

もともと折込み広告は、お客に商品と値段を知らせるためのものですが、この時代のもものは、お店の個性を、デザイン・色彩によって強く打ち出しています。「安さの横綱」という力強いキャッチコピーや、視覚に直接訴えかけるイラストや写真などが用いられているほか、いろいろなお店が四季折々の変化に応じて工夫を凝らしているのが、見飽きることはありません。また、現在ではなくなってしまったお店のものも多く、当時を知るために非常に価値のあるものでした。

こうして、偶然発見された折込み広告は、昭和30〜40年代の水戸の街のにぎわいを語る、貴重な資料となりました。これ以降のものは、現在と同じ、商品の写真と価格が並ぶものとなるので、このような個性的でユニークな広告は、この時代特有のものなのです。

特別展では、「水戸の街のにぎわい」のコーナーでこれらの広告を展示します。昭和のエネルギヤやその輝きを感じてください。

(水戸市立博物館 民俗部門担当 坂本京子)

昭和浪漫 思い出の宝石箱

一思い出は
煌めく星のように

期間(予定)／2月9日(火)～3月14日(日)
開館時間／午前9時30分～午後4時45分
休館日／月曜日
入館料／一般200円 ※18歳以下、65歳以上の方は無料。

特別展「水戸の街のにぎわい」のコーナーには、デパートでのごはんのメニューやお菓子など、当時の子どもたちが心躍らせた展示がいっぱい



※市立博物館は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2月8日(月)まで休館しています。